

昨年度と同様に、文部科学省 科学技術・学術審議会 測地学分科会 地震火山観測研究計画部会において年次報告のとりまとめが行われるため、年次報告書の作成を行う。

- (1) 「機関別」は冊子体にせず、「成果の概要」および「計画推進部会および総合研究グループ等別の成果」を冊子体として年次報告とする。
- (2) 「機関別」は、各研究課題の報告を、実施機関別にまとめる。
- (3) 「成果の概要」は、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」に沿って創出された具体的な成果を、一般の方でも読みやすく分かりやすいように取りまとめる。
- (4) 成果は「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」における「5つの項目」及び「重点的に取り組む研究」の目的の達成にどのように貢献するのかが分かりやすいように取りまとめる。
- (5) 令和5年度の成果を報告するほか、本計画の実施期間全体（令和元年度～5年度）の成果について概観して報告する。

○ 作成の手順

1 「機関別」報告

- ・ WEB 入力システムを利用して資料を作成する。課題担当者が入力するのは令和5年度及び計画期間中（令和元年度～5年度）の成果の概要等。既に締め切り。
- ・ 入力された報告の抜粋が、地震火山観測研究計画部会（6～7月予定）で報告される。報告用パワーポイントは、文部科学省ホームページで公開される。

2 「成果の概要」報告

- ・ 専門家以外でも読みやすく、具体的な成果がわかりやすいように配慮して作成する。
- ・ これらは「計画推進部会および総合研究グループ等別の成果」報告（次項）に基づき作成する。

3 計画推進部会および総合研究グループ等別の成果（協議会が作成する報告書）

- ・ 各研究推進部会長・総合研究グループリーダー等の協力を得て、「機関別」報告をもとに、計画推進部会・総合研究グループ別の成果をとりまとめる。各部会長、グループリーダーによる報告書という形式をとる。

（計画推進部会長、総合研究グループリーダーらに4月17日締め切りで依頼）

- ・ 地震火山観測研究計画部会が年次報告を冊子にする場合、「成果の概要」と「計画推進部会および総合研究グループ等別の成果」が一緒になっている方が便利であるので、「計画推進部会および総合研究グループ等別の成果」を参考資料として「年次報告【成果の概要】」1冊に集約する。

4 今後の日程等

8月～9月頃 (文部科学省 地震火山観測研究計画部会)
令和5年度年次報告【成果の概要】完成